

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（新編 文学国語 大修館書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】動詞以外の活用語に注意しながら本文を読むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】文章の展開の仕方について、古典常識を下敷きに理解することができる。

【学びに向かう力、人間性等】興味・関心をもって授業に取り組むことができる。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・動詞、形容詞、形容動詞、助動詞の活用や接続に注意しながら本文を読むことができる。 ・古文や漢文を読むために必要な古典常識や語彙を身につける。	・登場人物の行動の理由について、古典常識を下敷きに理解することができる。 ・文章が書かれた時代背景をもとに作品を読むことができる。	・興味・関心を持って授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
1 学 期 A 単元「星取り」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○笑い話であることを理解させる。 ○オチを理解させる。 ○動詞の活用を復習する。	○	○	○	○	○	○	○	○	5
B 単元「児の飴食ひたること」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○おもしろさを理解させる。 ○教訓を読み取らせる。 ○形容詞の活用を学習する。	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査										1
C 単元「かぐや姫の昇天」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○本文の表現について意見を交換させる。 ○古代人の「月」に対するイメージについて自分の言葉でまとめさせる。	○	○	○	○	○	○	○	○	7
D 単元「月やあらぬ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○和歌の修辭について理解させる。 ○歌語として「月」が用いられている例を自分で調べて見つける。	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査										1
E 単元「こころ」 ○情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】	○作者の来歴を理解させる。 ○本文中の語句の意味を理解させる。 ○場面ごとにあらすじをつかんで、登場人物の行動の理由について説明できるようにする。 ○作品に関連したテーマで自分の考えを他者と共有させる。 ○近代文学への興味を持たせる。	○	○	○	○	○	○	○	○	

